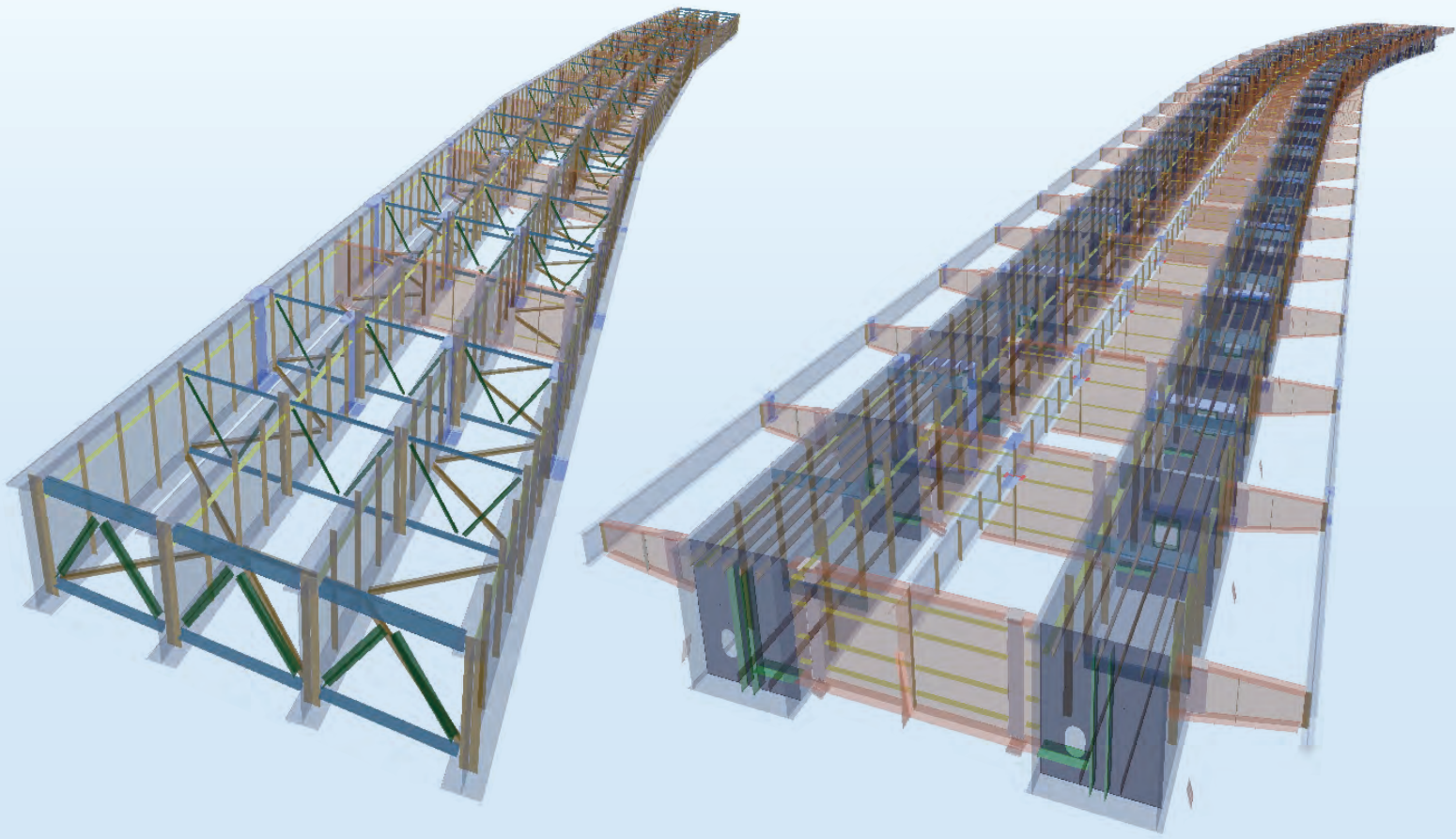


APOLLO



鋼橋設計システム



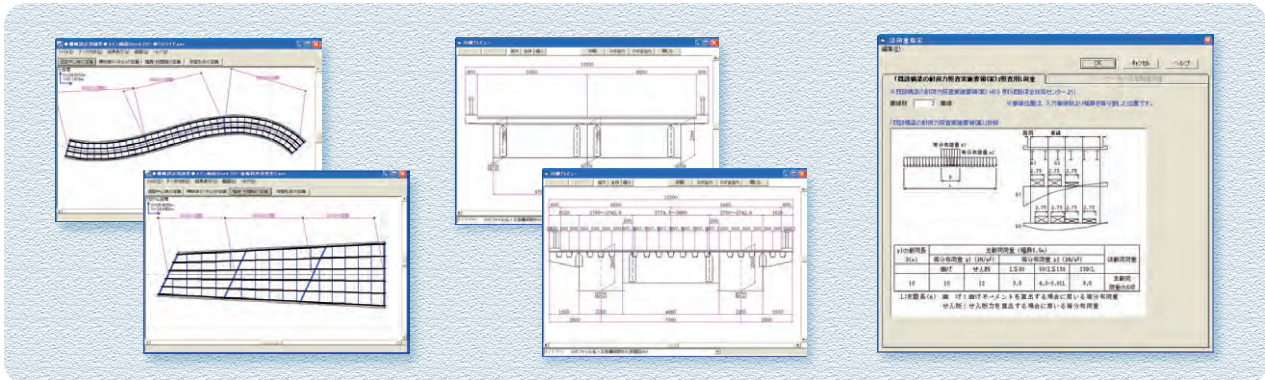
鋼橋を対象とした線形・解析・設計・製図・材料の一貫システム

長年にわたる膨大な数の鋼橋設計の実績の元に開発されたシステムです。新設橋の予備設計から詳細設計、既設橋の復元設計から補強設計まで適用可能です。建設コンサルタントや橋梁メーカーなど多くの導入実績を誇ります。

● 概略設計システム (SuperPlanner)

APOLLO

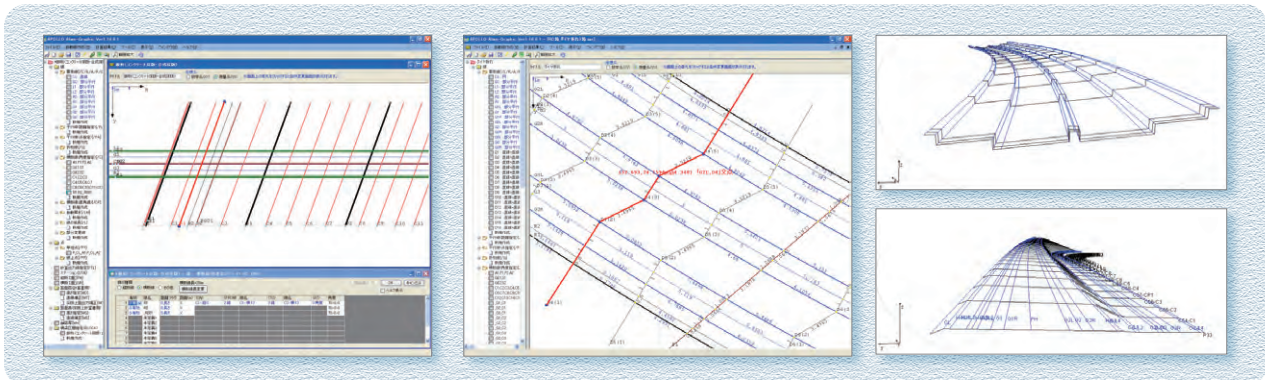
R7道示、H29道示、H24道示に対応し、鋼桁橋の全構造形式（非合成钣桁・箱桁、合成钣桁・箱桁、鋼床版钣桁・箱桁、開断面箱桁）をオールインワンパッケージにしました。簡単な骨組み形状から拡幅、非整形、枝桁など主桁本数が変化する複雑な骨組み形状まで、容易に作成可能です。新設橋梁の構造形式比較選定や既設橋梁の復元設計（既設橋梁の耐荷力照査）として利用可能です。



● 線形計算システム (Align-Graphic)

APOLLO

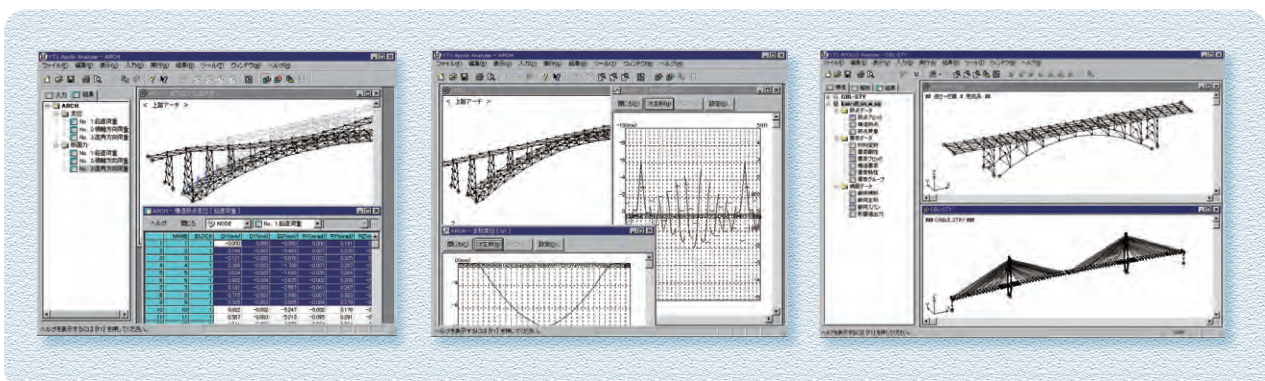
ウィザード機能により簡単にデータが作成できます。合成床版、鋼床版横リブ、箱桁ダイヤフラムの折れ横断などの専用機能により効率化が図れます。線毎に画面表示のON・OFF、色、太さを指定でき、表示させたい線を絞っての確認が行えます。格点座標 (XYZ) や格間長を画面に表示する事や3次元ビューによりデータ入力の視覚的な確認が行えます。他社の線形データとの変換機能もあります。



● 構造解析システム (Analyzer)

APOLLO

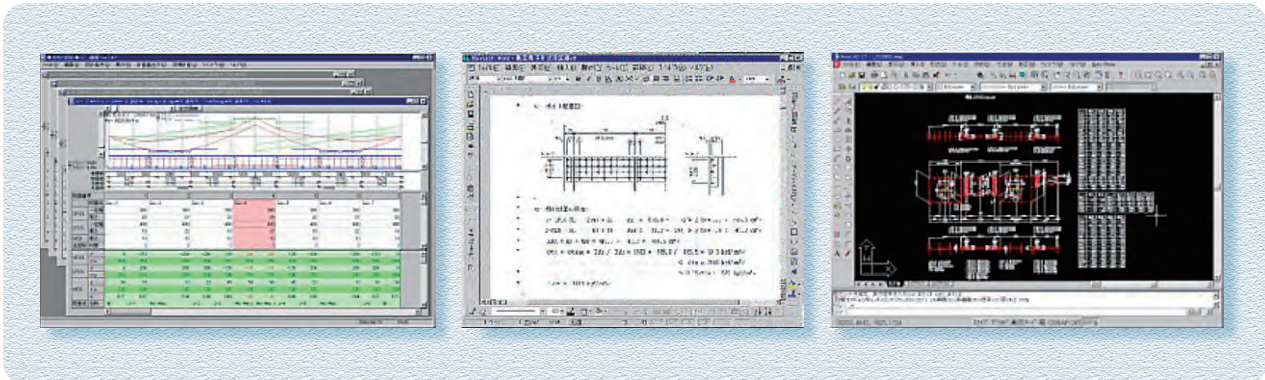
立体骨組みモデルに対応した構造解析システムで、固定荷重計算（節点荷重、部材荷重、温度荷重、支点強制変位）、影響線荷重計算（面分布荷重、道路橋示方書L荷重・T荷重）、固有値解析、さらに有限変位解析、線形動的応答解析をサポートしています。複数の解析結果から必要な荷重ケースを指定し、組み合わせを行うこともできます。



● 自動設計製図システム (SuperDesigner / SuperDrawing)



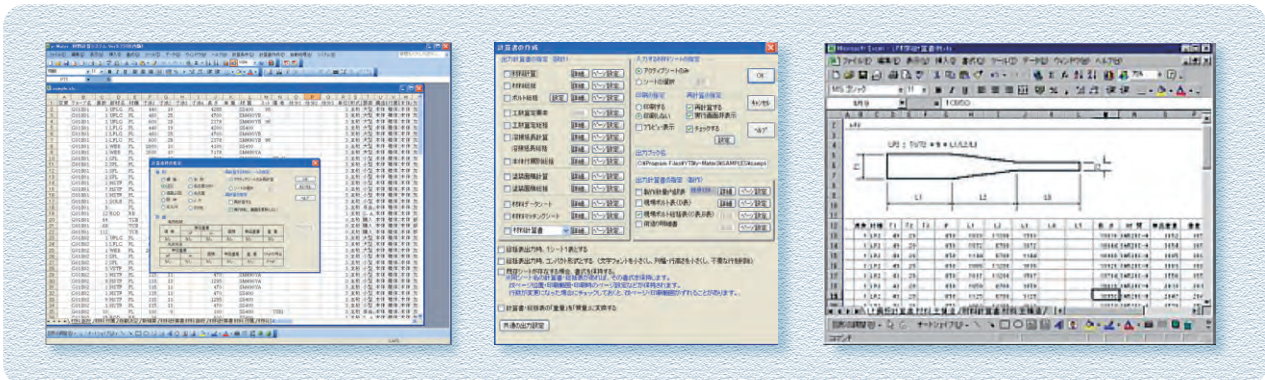
R7道示、H29道示、H24道示に対応し、鋼桁橋の全構造形式（非合成钣桁・箱桁、合成钣桁・箱桁、鋼床版钣桁・箱桁、開断面箱桁）の設計製図が可能です。豊富な挿図で分かりやすい計算書はMS-Wordで読み書きできるRTF形式で出力しますので後編集も可能です。図面はCAD製図基準に準拠しDWGデータとして出力します。3次元モデルや設計情報属性ファイルの出力が可能です。



● 材料計算システム (y-Mater)



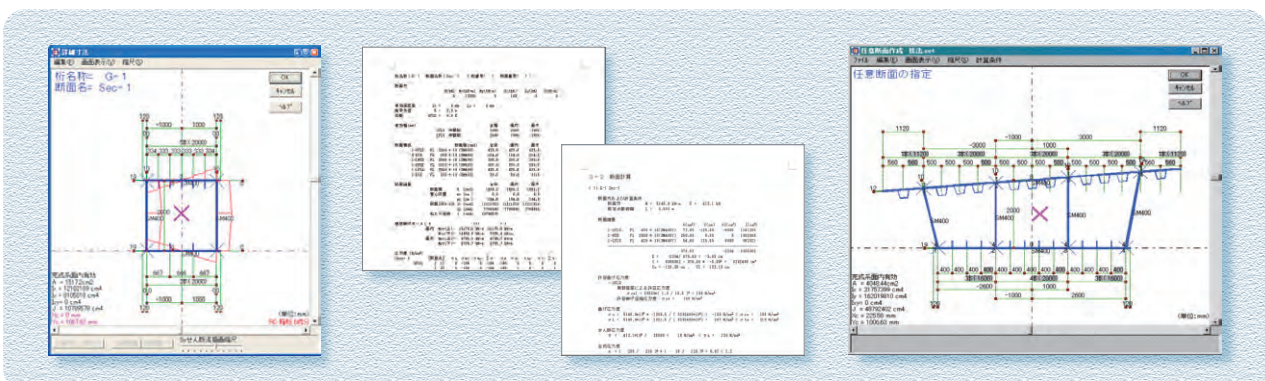
MS-Excelにアドインし重量計算や塗装計算および工数算定用集計を行います。工数算定基準は「鋼道路橋工数算定要素集計マニュアル」に対応しています。自動設計製図システム (SuperDesigner / SuperDrawing) と連動し自動的に材料データを作成します。弊社のCA* (鉄構CAMシステム) 用の板取りや形鋼部材ファイルに出力する事も可能です。他社の材料データとの変換機能もあります。



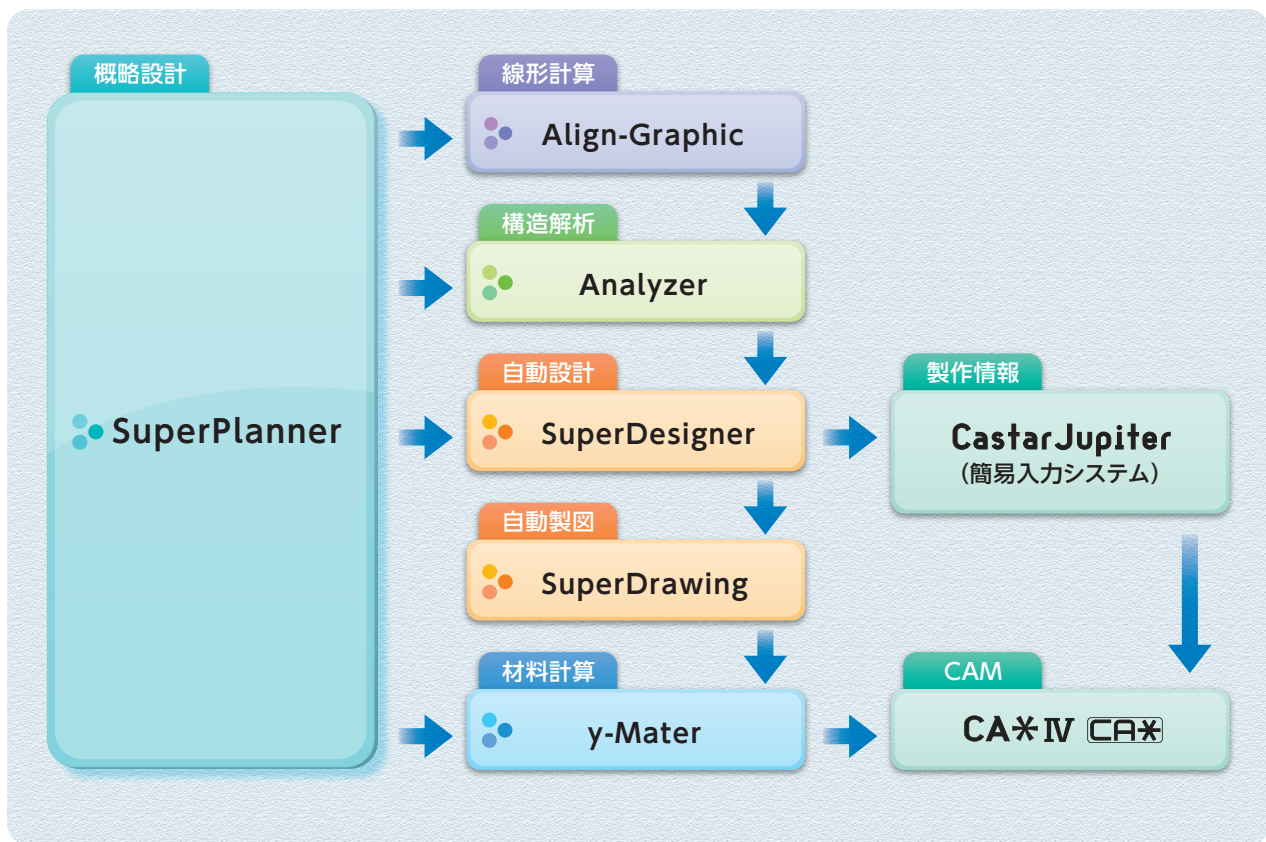
● 断面計算システム (Section)



R7道示、H29道示、H24道示に対応し、鋼橋の桁橋・アーチ橋・トラス橋などの断面計算が行えます。断面形状を確認しながら寸法を入力すると、瞬時に断面形状の更新および剛度等が計算されます。計算書はMS-Wordで読み書きできるRTF形式で出力しますので、後編集も可能です。多室構造など任意形状（有償オプション）の断面計算も可能です。



》 各種システムのデータ連動



■ 動作環境

種類	ソフトウェア名
OS	Windows11(64bit) ・MeBiCLink/APOLLO In (CIMモデル作成)は64bit版のOSが必須
アプリケーション	MS-Office2021、Microsoft365(Office365)の32bit/64bit DWG(2004形式)、DXFが編集可能なCADソフト(AutoCADなど) SketchUp Pro:CIMモデル作成(MeBiCLink/APOLLO In実行)には必須

ソフトウェアのバージョンはお問い合わせください。

- Windowsは米国MicrosoftCorporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、記載の社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
- 本製品の仕様および価格、関連資料その他は、予告なく変更することがあります。



株式会社 横河ブリッジ技術情報

【お問い合わせ先】

〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44 横河ビル

TEL: 03-5442-1703 FAX: 03-5442-1704

<https://www.yti.co.jp/>